

第44回古河桃まつり

期間 3月20日(金)～4月5日(日)

場所 古河公方公園(古河総合公園)

内容 ステージイベント(歌謡ショー、バンド演奏、和太鼓演奏、子どもたちによるダンス、手筒花火等)、人力車による園内周遊、熱気球体験搭乗、大道芸、野点茶会、特産品販売等

問 古河市観光協会(☎観光物産課内)TEL23-1266

■古河桃まつり期間は駐車場が有料になります

開花状況等により変更する場合があります。

時間 9時～17時30分

料金 普通自動車500円、バス2,000円、二輪車無料
※退出時に料金を徴収します。

■公園内施設の利用制限

期間中は園内でのバーベキューや催事、展示室等の利用ができません。

期間 3月7日(土)～4月8日(水)

問 古河公方公園管理事務所TEL47-1129

■古河歴史博物館企画展示

「古河城下の桃源郷」

P6-7で紹介する江戸時代から昭和までの桃林に関する資料を展示します。

期間 2月29日(土)～4月22日(水)

問 古河歴史博物館TEL22-5211



地域の人に支えられてきたハナモモ

古河公方足利成氏が、1455(享徳4)年に渡良瀬川の湿地と猿島台地が入り組むこの場所に館を構え、統治の本拠としていた場所とされる古河公方公園。現在、ここに咲くハナモモは、1975(昭和50)年の公園の開園を機に植えられたものです。「矢口」「源平」「菊桃」「寿星桃」「寒白」の5つの品種が密集したエリアに約1500本も咲き誇っているのは全国的にも珍しいため、日本の桃源郷と言われています。

最盛期には約2千本のハナモモが咲いていましたが、虫食いや病気などにより多くの木が枯れてしまいました。しかし、古河のハナモモを盛り上げたいと考える地域の人たちが花桃オーナーなどの支えにより、今では最盛期の姿を取り戻しつつあります。

歴史が息づく古河公方公園

ハナモモの風景を次の世代へ

～私たちのまちにある日本一の桃源郷～

春には5種類のハナモモ約1,500本が咲き誇り、桃源郷を思わせる古河公方公園。ここに咲く桃の花は、江戸時代からさまざまな人々の思いや情熱に支えられ、現在に受け継がれています。

古河のハナモモの歴史や公園を支える人の思いを知り、昔はまちの至る所に咲いていた桃の花に思いをはせながら、古河桃まつりを楽しんでみませんか。

※鑑賞用…ハナモモ、食用…桃。